

# 第 3 部 資料編

## 資料1～4について

- 資料 1 学習・行動チェックシート  
教師が児童生徒のつまずきを確認するものです。  
\* 通し番号を入れて、第2部実践編の<関連するチェックシートの番号>と対応させています。
- 資料 2 学習・行動チェックシート 記入例  
担任が学習や行動の様子を見て、つまずきをチェックしたものです。
- 資料 3 実態把握票 記入例  
資料2のチェックシートをもとに、実態を詳しく把握して記入したものです。
- 資料 4 個別の指導計画 作成例  
実態や保護者の願い等を踏まえ、課題の優先順位を考えて、目標を焦点化しました。そして、役割分担を明確にして、具体的に指導計画を立てたものです。

\* 資料2～4は、一人の児童生徒を想定して作成した記入例です。

\* 各資料を記入・作成する際には、この記入例を参考にしてください。



領域	No	内 容	チェック	通し番号
学習面	1	本人の興味のある教科には熱心に参加するが、そうでない教科では退屈そうに見える。		45
	2	本人の興味ある特定分野の知識は大人顔負けのものがある。		46
	3	自分の考えや気持ちを、発表や作文で表現することが苦手である。		47
	4	こだわると本人が納得するまで時間をかけて作業等をすることがある。		48
	5	教師の話や指示を聞いていないように見える。		49
	6	学習のルールやその場面だけの約束ごとを理解できない。		50
	7	一つのことに関心があると、他の事が目に入らないように見える。		51
	8	場面や状況に関係ない発言をする。		52
	9	質問の意図とずれている発言(発言)がある。		53
	10	不注意な間違いをする。		54
	11	必要な物をよくなくす。		55
行動面	1	学級の児童生徒全体への一斉の指示だけでは行動に移せないことがある。		56
	2	離席がある、椅子をガタガタさせる等落ち着きがないように見える。		57
	3	順番を待つのが難しい。		58
	4	授業中に友達の前を邪魔をすることがある。		59
	5	他の児童生徒の発言や教師の話や教師の話を遮るような発言がある。		60
	6	体育や図画工作・美術等に関する技能が苦手である。		61
	7	ルールのある競技やゲームは苦手のように見える。		62
	8	集団活動やグループでの学習を逸脱することがある。		63
	9	本人のこだわりのために、他の児童生徒の言動を許せないことがある。		64
	10	係活動や当番活動は教師や友達に促されてから行うことが多い。		65
	11	自分の持ち物等の整理整頓が難しく、机の周辺が散らかっている。		66
	12	準備や後片付けに時間がかかり手際が悪い。		67
	13	時間内で行動したり時間配分が適切にできない。		68
	14	掃除の仕方、衣服の選択や着脱などの基本的な日常生活の技能を習得していない。		69
コミュニケーション面	1	会話が一方通行であったり、応答にならないことが多い。(自分から質問をしても、相手の回答を待たずに次の話題に行くことがある。)		70
	2	丁寧すぎる言葉遣い(場に合わない、友達どうしても丁寧すぎる話し方)をする。		71
	3	周囲に理解できないような言葉の使い方をする。		72
	4	話し方に抑揚がなく、感情が伝わらないような話し方をする。		73
	5	場面や相手の感情、状況を理解しないで話すことがある。		74
	6	共感する動作(「うなづく」「身振り」「微笑む」等のジェスチャー)が少ない。		75
	7	人に含みのある言葉や嫌味を言われても、気付かないことがある。		76
	8	場や状況に関係なく、周囲の人が困惑するようなことを言うことがある。		77
	9	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出すことや独り言が多い。		78
対人関係面	1	友達より教師(大人)と関係をとることを好む。		79
	2	友達との関係の作り方が下手である。		80
	3	一人で遊ぶことや自分の興味で行動することがあるため、休み時間一緒に遊ぶ友達がいない		81
	4	口ゲンカ等、友達とのトラブルが多い。		82
	5	邪魔をする、相手をけなす等、友達から嫌われてしまうようなことをする。		83
	6	自分の知識をひけらかすような言動がある。		84
	7	自分が非難されると過剰に反応する。		85
	8	いじめを受けやすい。		86
運動面	1	人や物にぶつかりやすく、対象との距離感を把握するのが難しい。		87
	2	スキップ、マット運動、鉄棒、縄跳び、体操等の運動が苦手である。		88
	3	コンパスや分度器、はさみ等がうまく使えない、リコーダーの指使いがうまくない。		89
心理面	1	被害意識が強い。また、トラブルの原因は自分にあることを認めようとしなない。		90
	2	暴言や暴力が多い。		91
	3	自信がなく自分で決めたりやりたいことを言ったりできない。		92
	4	「どうせ 私(ぼく)なんか.....。」という気持ちが強かったり、「やってもできない。」と言って、できそうなこともはじめから取り組もうとしなない		93

## 資料 2

\* 資料2～4は、教師が児童生徒のつまずきを確認して実態を把握し、個別の指導計画を作成した例です。

**学習や行動の様子を見て、つまずいているところを担当がチェックしました。**

### 学習・行動チェックシート

学校名【 埴 田 市 立 本 町 小 学 校 】 記入者名【 宇 都 宮 花 子 】  
 児童・生徒氏名【 栃 木 太 郎 】 【 3 年 1 組 】

No.1

領域	No	内 容	チエック
聞 く	1	音の聞き間違いがある。(「はな」を「あな」、「はんこ」を「はこ」等)	
	2	簡単な単語の意味を取り違えることが多い。(「のり」と「はさみ」、「冷蔵庫」と「洗濯機」等)	
	3	聞いたことをすぐに忘れることがある。	
	4	聞き返すことが多い。	
	5	書いてあることを理解するよりも、話し言葉の理解の方が難しい。	

話 す	1	発音しにくい音がある。(「しらない」を「ちらない」など)	
	2	的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることがある。	
	3	文法的に誤りのある不完全な文で話すことが多い。	
	4	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。	
	5	経験したことを順序立てて話すことが難しい。	
	6	自分の意見を言葉で表せない。	

読 む	1	音読する際に、形態的に似た文字(「き」と「さ」、「ぬ」と「め」、「人」と「入」など)を読み間違ふ。	
	2	文字を抜かしたり、付け加えたりして読み間違ふ。	
	3	一文字一文字は読めるが、たどり読みがみられる。	
	4	文中の語句や行を抜かして読んだり、分からなくなったり、同じ所を繰り返して読んだりする。	
	5	文章を適切な文節や句読点で区切って読めず、意味が混乱する。	
	6	勝手読み(「する」を「します」、「いきました」を「いました」)がある。	

書 く	1	読みにくい字や形、大きさの整わない字を書いたり、まっすぐに書けなかったりする。	
	2	ひらがなを書くとき鏡文字(「く」を「>」)や、似ているひらがなの間違い(「い」を「り」)がある。	
	3	漢字のへんやつくりを入れ替えて書いたり、細部を間違えて書く。	
	4	促音や拗音などの特殊音節を書き間違ふ。	
	5	文字を抜かしたり(「せんせい」を「せんせ」)、転化させたり(「花だん」を「花ざん」して書き間違ふ)。	
	6	句読点や助詞を正しく使うことが難しい。	
	7	限られた量や事実の羅列のみなど、内容が乏しい作文を書く。	

計 算 する / 該 当 学 年	1	位数(3桁や4桁、それ以上～)の大きい数を読んだり書いたりするのが難しい。	
	2	数の大小を比較したり、順序通りに並べるのが難しい。	
	3	+、-、×、÷などの記号が理解できない。	
	4	やさしい加減算でも指を使って計算する。	
	5	繰り上がり又は繰り下がりのある計算が難しい。	
	6	九九を完全には覚えていない。	
	7	筆算では、桁をそろえることが難しい。	
	8	小数の大小の比較、または四則計算が難しい。	
	9	分数の大小の比較、または四則計算が難しい。	
	10	四則混合の式のように多くの操作を要する計算が難しい。	

推 論 する / 該 当 学 年	1	時刻や時間の概念を表す言葉の理解が難しい。(昨日・年、今日・年、明日・年、より早い・前、より遅い・後)	
	2	アナログ式の時計を見て、時刻を読むのが難しい。	
	3	量を表す基本単位の理解や単位の換算が難しい。	
	4	面積や体積の測定や公式の理解、使用が難しい。	
	5	位置や空間を表す言葉の理解が難しい。(～の上・下、～の前・後、～の左・右等)	
	6	形を構成したり、分解したりすることが難しい。	
	7	三角定規やコンパスなどの器具を用いて、図形を書くのが難しい。	
	8	図形の構成要素(辺、頂点、角、直径、中心等)や構成要素間の関係理解が難しい。	
	9	表やグラフからの数量間の関係を理解するのが難しい。	
	10	文章題を解くのが難しい。	

領域	No	内 容	チェック
学習面	1	本人の興味のある教科には熱心に参加するが、そうでない教科では退屈そうに見える。	
	2	本人の興味ある特定分野の知識は大人顔負けのものがある。	
	3	自分の考えや気持ちを、発表や作文で表現することが苦手である。	
	4	こだわると本人が納得するまで時間をかけて作業等をすることがある。	
	5	教師の話や指示を聞いていないように見える。	
	6	学習のルールやその場面だけの約束ごとを理解できない。	
	7	一つのことに関心があると、他の事が目に入らないように見える。	
	8	場面や状況に関係ない発言をする。	
	9	質問の意図とずれている発表（発言）がある。	
	10	不注意な間違いをする。	
	11	必要な物をよくなくす。	

行動面	1	学級の児童生徒全体への一斉の指示だけでは行動に移せないことがある。	
	2	離席がある、椅子をガタガタさせる等落ち着きがないように見える。	
	3	順番を待つのが難しい。	
	4	授業中に友達の邪魔をすることがある。	
	5	他の児童生徒の発言や教師の話や教師の話を遮るような発言がある。	
	6	体育や図画工作・美術等に関する技能が苦手である。	
	7	ルールのある競技やゲームは苦手のように見える。	
	8	集団活動やグループでの学習を逸脱することがある。	
	9	本人のこだわりのために、他の児童生徒の言動を許せないことがある。	
	10	係活動や当番活動は教師や友達に促されてから行うことが多い。	
	11	自分の持ち物等の整理整頓が難しく、机の周辺が散らかっている。	
	12	準備や後片付けに時間がかかり手際が悪い。	
	13	時間内で行動したり時間配分が適切にできない。	
	14	掃除の仕方、衣服の選択や着脱などの基本的な日常生活の技能を習得していない。	

コミュニケーション面	1	会話が一方通行であったり、応答にならないことが多い。（自分から質問をしても、相手の回答を待たずに次の話題に行くことがある。）	
	2	丁寧すぎる言葉遣い（場に合わない、友達どうしても丁寧すぎる話し方）をする。	
	3	周囲に理解できないような言葉の使い方をする。	
	4	話し方に抑揚がなく、感情が伝わらないような話し方をする。	
	5	場面や相手の感情、状況を理解しないで話すことがある。	
	6	共感する動作（「うなづく」「身振り」「微笑む」等のジェスチャー）が少ない。	
	7	人に含みのある言葉や嫌味を言われても、気付かないことがある。	
	8	場や状況に関係なく、周囲の人が困惑するようなことを言うことがある。	
	9	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出すことや独り言が多い。	

対人関係面	1	友達より教師（大人）と関係をとることを好む。	
	2	友達との関係の作り方が下手である。	
	3	一人で遊ぶことや自分の興味で行動することがあるため、休み時間一緒に遊ぶ友達がいないように見える。	
	4	口ゲンカ等、友達とのトラブルが多い。	
	5	邪魔をする、相手をけなす等、友達から嫌われてしまうようなことをする。	
	6	自分の知識をひけらかすような言動がある。	
	7	自分が非難されると過剰に反応する。	
	8	いじめを受けやすい。	

運動面	1	人や物にぶつかりやすく、対象との距離感を把握するのが難しい。	
	2	スキップ、マット運動、鉄棒、縄跳び、体操等の運動が苦手である。	
	3	コンパスや分度器、はさみ等がうまく使えない、リコーダーの指使いがうまくない。	

心理面	1	被害意識が強い。また、トラブルの原因は自分にあることを認めようとしない。	
	2	暴言や暴力が多い。	
	3	自信がなく自分で決めたりやりたいことを言ったりできない。	
	4	「どうせ 私（ぼく）なんか……。」という気持ちが強かったり、「やってもできない。」と言って、できそうなこともはじめから取り組もうとしない	

資料 3

資料2のチェックシートをもとに、詳しく児童生徒の実態を把握し記入しました。

実態把握票

NO.1

記入年月日 平成17年 5月 6日

ふりがな	とちぎ たろう	性別	学校名	埴田市立本町小学校
氏名	栃木 太郎	男	年組	3年 1組
生年月日	平成 8年 7月 6日生 ( 8歳10月)		記入者	宇都宮 花子

応用している面	( 適応してる場面や活動内容、学校生活で本人を生かせる活動・場面等 ) ・興味関心があることに集中して取り組む。( 昆虫の観察や図鑑鑑賞 ) ・算数と理科が好きで、良くできる。 ・読書の時間は好きで喜んでいる。 ・水槽の水の取り替えを良くやっている。
---------	---

学習全般	普通程度の評価の教科名と得意な分野	理科(生き物) 図工(工作) 体育(ボール運動)
	国語科のかなり低い観点別学習状況	( )《関心・意欲・態度》 ( )《話す・聞く》 ( )《書く》( )《読む》 ( )《言語事項》
	算数科・数学科のかなり低い観点別学習状況	( )《関心・意欲・態度》( )《数学的な考え方》 ( )《表現・処理》 ( )《知識・理解》
	算数科・数学科の内容領域	( )《数と計算・数と式》 ( )《図形》 ( )《量と測定・数量関係》

知的面	1 心理教育検査(知能テスト等)実施していない。 2 検査結果 3 検査日
-----	---

領域	具 体 的 な 内 容
聞く	( 該当項目NO 4、5 ) ・理解していないようには見えないが、何度も聞き返す。 ・言葉で説明するより、図で示した方が伝わりやすい。
話す	( 該当項目NO 4、5 ) ・昨日の出来事などを時間の経緯を追って話すことができない。
読む	( 該当項目NO )
書く	( 該当項目NO 6、7 ) ・書くことを嫌がり、書こうとしない。2、3行の文を書くにも時間がかかる。 ・「テレビを見ました。」など事実の羅列になる。 ・板書した準備物等を連絡帳に写さない。
計算する	( 該当項目NO ) ・算数は得意で、文章題も解ける。単元末のテストの得点は90点前後である。
推論する	( 該当項目NO 7 ) ・三角定規やコンパスなどが固定できず、ずれてしまう。一度うまくいかないと描こうとしない。

学習面	(該当項目NO 1、2、3、5、6、8、9、11 ) ・得意な算数や理科では集中して取り組む。昆虫などの図鑑の知識が高く、関連する内容になるとよく発表するが、国語などは聞いていないことが多い。 ・社会科見学などの感想を求めると言えない。 ・教科書を出す、開くなどの簡単な指示でも聞いていないことがある。 ・班活動などで、話し合っている内容からそれて話すことがある。 ・忘れ物が多い、また、文房具などが落ちていることが多い。
行動面	(該当項目NO 1、7、8、10、11、12、14 ) ・全体への指示を聞いていないようで、活動や作業を始められない。 ・鬼ごっこなどの簡単な遊びはできるが、ルールが複雑になると参加できなくなる。ドッチボールやサッカーの球技は見ていることが多い。 ・給食当番や清掃では、ふらふらしている。 ・自分の持ち物を探せない。机の周りが散らかっていても気にとめない。
コミュニケーション面	(該当項目NO 1、5、7、8、9 ) ・自分の言いたいことを先に話し、相手の言うことを聞こうとしない。 ・トラブルがあった時に相手の気持ちを考えさせるが、分からないようだ。 ・友達に冗談を言われても、それを真にうけてしまうことがある。
対人関係面	(該当項目NO 3 ) ・休み時間は教室で一人で図鑑を見ていることを好む ・ブランクの順番を巡って友だちと言い争いになることがある。
運動面	(該当項目NO 2 ) ・運動は全般的に苦手である。
心理面	(該当項目NO 2、3、4 ) ・友だちに悪口を言って、トラブルになることが多い。 ・国語の漢字学習やグループ活動で、自分でできないと思うと、担任が励ましてもやろうとしない。

本人の思い

--

保護者の考え・思い

・友達と仲良くしてほしい。 ・もう少し勉強してほしい。
--------------------------------

学校・担任の願い

・友達と仲良くしてほしい。 ・連絡帳を書き、忘れ物を少なくしてほしい。
--

相談歴

医療機関（機関名・所見等）	なし
相談機関（機関名・相談内容等）	なし



資料 4

課題の優先順位を考えて目標を焦点化し、役割分担を明確にするなど具体的に計画しました。

個別の指導計画

記入年月日 17年 5月18日  
評価予定日 17年 7月20日

学年・組		3年1組		担任名		宇都宮花子	
氏名		栃木太郎					
実態	【子どもの得意な面やできていることで指導や支援に生かせる内容も記述する。】 ・興味関心があることに集中して取り組む。 （昆虫の観察や図鑑鑑賞） ・算数と理科が好きで、よくできる。 ・板書を写したり、作文を書いたりしない。 ・友だちとのかかわりがうまくできず、昼休みなどにトラブルになることがある。			【長期目標】【学校生活でどうなっほしいか記述する】 ・友だちとのトラブルを少なくする。 ・重要なことや連絡事項はノートに写すことができる。			
				【保護者の願い】【保護者と話し合いを持ち、記述する。】 ・友達と仲良くしてほしい。 ・もう少し勉強してほしい。			
指導目標	学習面	授業の重要事項や次の日の持ち物などをノートに写すことができる。		概ね2、3ヶ月程度の期間を想定して目標を記述する	学習面		
	行動面				行動面		
	対人関係面	昼休みに遊具で遊ぶとき、自分の順番が来るまで待つことができる。			対人関係面		
	その他	算数と理科は、本人の得意な分野であり、自信を持つように伝え、級友にも知らせることで、自己肯定感を高める。			その他		

	指導内容 (何を) 【改善を図る具体的内容】	指導場面及び担当者 (いつ・どこで・誰が) 【学習・生活場面】	指導の手だて (どのように) 【子どもの得意なことなどを生かすように配慮する】
学習面	算数と理科の時間、板書を写す。  明日の連絡事項を連絡帳に写す。	算数の時間 担任、支援員 理科の時間 理科の教科担任  帰りの会 担任	板書を写す範囲（公式などの重要なところ）を示し、机間指導しながら個別に指示する。書き終わったら「先生終わりました。」と報告させる。 学習の流れ（予想、実験・観察、結果、考察等）をプリントし、それぞれの枠の中に板書を写させる。板書内容が多い時は、アンダーラインの部分を書き写すことを指示する。 指示された範囲を書き終わったら、すぐに評価する。 クラス全体への連絡内容を携帯できるホワイトボードに書き、必要な場合には本人の前に置く。
行動面			
対人関係面	遊具を使う順番を守る。 仲間に入りたいたときにはことばを掛ける。	道徳の時間 担任 昼休み 全教職員	「待つことや順番を守ること」、「適切な言葉遣い」などを題材にした読み物教材を用意し、学級全体へ集団生活における決まりを守ることの大切さを指導する。ロールプレイなどを取り入れて、具体的・直接的に感じ取らせ、理解を深めさせる。 最初は教職員がそばにいて、「僕も入れて。」などの言葉を一緒に言うようにさせる。また、周囲の児童が適切な受け答えの手本を示すように指導する。
その他	算数と理科の授業態度をほめる。 連絡帳の記入内容を母親と確認する。	算数と理科 担任、教科担任 母親	本人の得意分野を把握し、意図的に指名する。 連絡帳に記入したことを家庭で確認し、持ち物を用意したら、チェックさせる。

## 資料 5

## 関係機関

## 1 栃木県教育委員会

名 称	所 在 地	電話番号
栃木県教育委員会事務局 特別支援教育室	〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20	028-623-3381
河内教育事務所	〒321-0974 宇都宮市竹林町1030-2	028-626-3182
上都賀教育事務所	〒322-0068 鹿沼市今宮町1664-1	0289-62-7167
芳賀教育事務所	〒321-4325 真岡市田町1568	0285-82-3324
下都賀教育事務所	〒328-8504 栃木市神田町6-6	0282-23-3422
塩谷教育事務所	〒329-2163 矢板市鹿島町20-22	0287-43-0176
那須教育事務所	〒324-0056 大田原市中央1-9-9	0287-23-2177
南那須教育事務所	〒321-0621 那須烏山市中央1-6-92	0287-82-2909
安足教育事務所	〒327-8503 佐野市堀米町607	0283-23-1471
総合教育センター	〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070	028-665-7210

## 2 県立盲・聾・養護学校 早期教育相談室

名 称	所 在 地	電話番号
盲学校 (早期教育相談室)	〒321-0342 宇都宮市福岡町1297	028-652-2331
聾学校 (たんぼぼ組)	〒320-0072 宇都宮市若草2-3-48	028-622-3910
のざわ養護学校 (つくしんぼ)	〒321-0973 宇都宮市岩曾町1177-2	028-689-2655
わかくさ養護学校 (さくらんぼ)	〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1	028-622-3650
富屋養護学校 (幼児教育相談室)	〒321-2116 宇都宮市徳次郎町39-1	028-665-2281
岡本養護学校 (とちのき教室)	〒329-1104 河内町下岡本2160	028-673-3456
今市養護学校 (たんぼぼ教室)	〒321-1264 日光市瀬尾1640-22	0288-22-6417
国分寺養護学校 (ひまわり)	〒329-0412 下野市柴6-2	0285-44-5121
栃木養護学校 (教育相談室ぱっぼ)	〒328-0067 栃木市皆川城内町1053	0282-24-7575
足利養護学校 (すずらん)	〒326-0011 足利市大沼田町619-1	0284-91-1110
足利中央養護学校 (幼児教育相談室)	〒326-0005 足利市大月町871-3	0284-41-1185
益子養護学校 (幼児教育相談室)	〒321-4106 益子町七井3650	0285-72-4915
那須養護学校 (ことり教室)	〒329-2712 那須塩原市下永田8-7	0287-36-4570
南那須養護学校 (いちご教室)	〒321-0532 那須烏山市藤田1181-152	0287-88-7571

## 3 児童相談所

中央児童相談所	〒320-0071 宇都宮市野沢町4-1	028-665-7830
県南児童相談所	〒328-0042 栃木市沼和田町17-22	0282-24-6121
県北児童相談所	〒329-2723 那須塩原市南町7-20	0287-36-1058

## 4 発達障害者支援センター

発達障害者支援センター (ふぉーゆう)	〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎりハビリテーションセンター内	028-623-6111
------------------------	--	--------------

## 資料 6

### 参考文献・引用文献

- 栃木県教育委員会  
『特別支援教育啓発資料1 小・中学校で特別支援教育を進めるために』平成17年  
文部科学省
- 『小・中学校におけるLD(学習障害), ADHD(注意欠陥/多動性障害), 高機能自閉症の  
児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案)』平成16年  
独立行政法人国立特殊教育研究所
- 『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』  
長野県教育委員会
- 『自律教育シリーズ第2集 自律教育校内支援体制の手引き「みんなで支援みんなが笑顔 - こん  
なときどうする? - 』平成17年.  
千葉県教育委員会
- 『特別な教育的支援を必要とする子どものためのQ & A』平成16年  
佐賀県教育委員会
- 『特別な教育的支援が必要な子どものためのガイドブック』平成17年  
徳島県教育委員会
- 『特別な支援を必要とする子どもの参考資料』平成16年  
竹田契一監修 太田信子・西岡有香・田畑友子著(平成12年) 日本文化科学社
- 『LD児のサポートプログラム - LD児はどこでつまづくのか, どう教えるのか - 』  
尾崎洋一郎・草野和子・中村 敦・池田英俊著(平成12年) 同成社
- 『学習障害(LD)及びその周辺の子どもたち - 特性に対する対応を考える - 』  
竹田契一・里見恵子・西岡有香著 日本文化科学社
- 『LD児の言語コミュニケーション障害の理解と指導』平成9年  
Charles W. Haynes・Terrill M. Jennings著 牟田悦子編訳 日本文化科学社
- 『LD ことばの表現力をのばす』平成7年  
須藤貢明・岸 学 著 教育出版
- 『ことばの遅れた子の言語指導』昭和58年  
吉田昌義他編著 東洋館出版社
- 『通常の学級におけるLD・ADHD・高機能自閉症の指導』平成15年  
河村茂雄編著 図書文化
- 『学級担任のための特別支援教育』平成17年  
高橋あつ子編著 ほんの森出版
- 『LD・ADHDなどの子どもへの場面別サポートガイド』平成16年  
全国情緒障害教育研究会編 日本文化科学社 平成15年
- 『通常学級におけるAD/H/Dの指導』  
下司昌一 編集代表 日本文化科学社 平成17年
- 『現場で役立つ特別支援教育ハンドブック』  
辻 誠一 日本文化科学社
- 『できる・わかる・楽しい授業 特別支援教育のコツと技』平成15年  
キャスリーナ・ナドー、エレン・ディクソン 東京書籍
- 『きみもきつとうまくいく 子どものためのADHDワークブック』平成13年  
岡田守弘他編 北大路書房
- 『学校心理士の実践4』平成16年  
北大路書房
- 『LD児の漢字学習とその支援』  
石隅利紀 誠信書房
- 『学校心理学』平成13年  
コレール社
- 『教育臨床心理学』平成16年  
第一法規 特別支援教育研究会編 2005
- 『特別支援教育ハンドブック』  
栃木県教育研究所
- 研究紀要118 『障害児の生きる力を育てる教育』2000  
研究紀要124 『特別な教育的ニーズのある子どもへの教育的対応』2002

執筆者及び事務局

理論編・実践編

所 属 ・ 職 名	氏 名
宇都宮市立中央小学校 教諭	半田 文男
下野市立南河内第二中学校 教諭	高山 靖子
鹿沼市立みどりが丘小学校 教頭	原田 浩司
野木町立野木中学校 教諭	杉内 一恵
小山市立小山城南小学校 教頭	沖 久幸
小山市立若木小学校 教諭	石川 泰子
栃木県立今市養護学校 教諭	荒川 香代子
栃木県立栃木養護学校 教諭	古川 広子
栃木県立益子養護学校 教諭	入江 正秀
栃木県立足利中央養護学校 教諭	鈴木 美穂
栃木県立那須養護学校 教諭	清水 浩
栃木県立那須養護学校 教諭	久家 康雄
栃木県立南那須養護学校 教諭	高橋 玲子
栃木県立南那須養護学校 教諭	星野 弘明
足利市教育委員会 指導主事	松村 由紀
総合教育センター教育相談部 副主幹	加藤 泰男
総合教育センター教育相談部 副主幹	青木 智子
総合教育センター教育相談部 副主幹	上野 光一
総合教育センター教育相談部 副主幹	赤上 純子
総合教育センター教育相談部 指導主事	潮田 裕子
総合教育センター教育相談部 指導主事	梅澤 圭子
総合教育センター教育相談部 指導主事	中田 誠
総合教育センター教育相談部 指導主事	松本美智代
那須教育事務所 副主幹	鈴木 隆一

コ ラ ム

所 属 ・ 職 名	氏 名
青木病院 副院長	青木 楊子
さいとうクリニック 院長	斎藤 茂子
自治医科大学 講師	塩川 宏郷
鹿沼市立教育研究所 相談員	江口 悠
小山市立教育研究所 相談員	西郷 園子
明治学院大学 教授	下司 昌一
宇都宮大学 教授	梅永 雄二
宇都宮大学 助教授	京林 由季子
国際医療福祉大学 講師	畦上 恭彦
国際医療福祉大学 助手	河野 眞
とちぎリハビリテーションセンター 副主幹兼医長	小黒 範子
栃木県発達障害者支援センター(ふぉーゆう)課長	秋場 美智子
栃木県発達障害者支援センター(ふぉーゆう)係長	服部 美佳子
LD(学習障害)等軽度発達障害児者親の会副代表	鶴見 恵津子

事 務 局

所 属 ・ 職 名	氏 名
県教育委員会特別支援教育室 室長	稲葉 隆
県教育委員会特別支援教育室 副主幹	石川 一夫
県教育委員会特別支援教育室 副主幹	鈴木 利生
県教育委員会特別支援教育室指導主事	久保田幹雄
県教育委員会特別支援教育室指導主事	福田 宜男
県教育委員会特別支援教育室指導主事	和氣 由美子
総合教育センター教育相談部 部長	高橋 みゆき
総合教育センター教育相談部 部長補佐	伊澤 成男

表紙・第2部実践編 イラスト 栃木県立わかかさ養護学校 杉山克幸 教諭  
シンボルマーク 栃木県立宇都宮商業高等学校 大木のり子さん  
(平成13年度『いきいき栃木っこ3あい運動』シンボルマーク募集最優秀賞作品)

一人一人の教育的ニーズに応じた支援のために  
～通常の学級における特別支援教育の手引き～

平成18年3月

編集・発行

栃木県教育委員会事務局特別支援教育室

〒320-8501

宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3381

FAX 028-623-3379

e-mail tokubetsu-shien@pref.tochigi.jp